NIE実践報告

1．タイトル：新聞を使った授業を試みて感じられたこと

2．学校名

三重県松阪市立嬉野中学校

3．実践者名（代表者名）

山下　隆久

4．学年

3年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語科・１３０人

6．単元（本時の学習課題）名

「メディア・リテラシー」

7．目標(狙い)

新聞を身近なものにしよう。
「メディア・リテラシー」の文章を体感的に読み取ろう。

8．評価の視点

興味ある記事を確定して、その記事から感想を持つことができたか。
新聞のテレビ欄から新聞作りの意図をどれだけ読み取ることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「新聞記事の切り貼り」（２か月に１回１時間）
「メディア・リテラシー」（４時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

「新聞記事の切り貼り」
①興味ある記事を選んで切り取り、Ｂ４紙に貼る。
②貼り付けた新聞記事を、なぜ選んだか理由をＢ４紙に書く。
（留意点）
・新聞を用意できない生徒がいるので、新聞や記事を切り取ったものを用意しておく。
・Ｂ４紙袋綴じで作成するたびに貼り重ねていく。冊子形式で自分の考えの変化を感じられるようにする。
「メディア・リテラシー」
①本文を読めるようにする。（１時間）
②形式段落１の読み取りを通して、説明的文章の読み取り方の基本を確認する。（１時間）
③全国紙と地方紙のテレビ欄を比べ、形式段落２を体験的に読み取る。（１時間・本時）
④形式段落３の読み取りを通して、「メディア・リテラシー」についてまとめる。（１時間）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞と班活動という環境がそろい、漢字の読み方を教え合うという姿が見られた。そして普段ふれることのない話題に興味を持ち、視野が広がった。新聞の工夫に驚きを表す生徒もいた。

12．成果と課題

（成果）
・生徒の興味関心や物事を見る視野が広がった。
・新聞の意図や作る工夫を探ることができた。
（課題）
・新聞を利用した授業の開発。もっと可能性がある。
・校内の活動に、いかに広げていくか。